

米子市文化財保護審議会 (令和3年度 第2回)

日 時 令和4年3月14日 (月) 13:30～
ところ 山陰歴史館 2階 会議室

日 程

- 1 現地見学 米子城跡、D-51形蒸気機関車
- 2 開 会
- 3 挨拶 (文化財保護審議会長)
- 4 議 事
 - (1) 米子市指定文化財の新規指定について(諮問)
- 5 報 告
 - (1) 文化財保存活用地域計画の作成について(中間報告)
 - (2) 史跡米子城跡の整備計画について(報告)
 - (3) 令和3年度(下半期)文化財保護事業実施状況について
 - (4) 令和4年度 文化財保護事業実施計画について
- 6 その他
- 7 閉 会

米子市文化財保護審議会委員

令和3年4月1日現在(50音順) 任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

No.	氏名	ふりがな	専門分野	所属、役職等
1	浅井 秀子	あさい ひでこ	建造物	鳥取大学工学部准教授
2	金澤 雄記	かなざわ ゆうき	建築史	広島工業大学准教授
3	神谷 要	かみや かなめ	天然記念物(動物)	米子水鳥公園館長
4	喜多村 理子	きたむら まさこ	風俗慣習、民俗技術	学識経験者
5	鷺見 寛幸	すみ ひろゆき	名勝、天然記念物 (植物)	大山町教育委員会教育長
6	田中 秀明	たなか ひであき	史跡、考古資料、 古代史	学識経験者
7	常松 喜恵子	つねまつ きえこ	音楽、民俗芸能	声楽家
8	丸山 柚美	まるやま ゆみ	美術工芸品、工芸技術	工芸作家
9	山道 俊哉	やまみち としや	古文書、近世史	米子工業高等学校
10	山本 恭子	やまもと きょうこ	文化人類学	米子市立山陰歴史館副館長

米子市文化財保護審議会条例

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、米子市文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、米子市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、本市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

2 前項の規定にかかわらず、委員の委嘱後初めての会議は、教育委員会が招集する。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成17年3月31日から施行する。

米子市内指定文化財等一覧

(R3・12・1現在)

1 国指定文化財 (11件)

No.	種類	名称	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	重要文化財	短刀銘備州長船住兼光附金熨斗付合口拵	工芸品	T1.9.3	大神山神社	尾高1025
2	史跡	向山古墳群	古墳	S7. 7. 23 H11. 7. 13(追加指定・名称変更)	米子市	淀江町福岡621ほか
3	重要文化財	石馬	考古資料	S34.12.18	天神垣神社	淀江町福岡(天神垣神社)
4	史跡	福市遺跡	集落跡・古墳	S45.10.17	米子市	福市457-1ほか
5	重要文化財	後藤家住宅 主屋・一番蔵・二番蔵	建造物	S49. 2. 5 H5. 8. 17 H8. 7. 9	個人	内町
6	史跡	青木遺跡	集落跡・古墳	S53.3.22	米子市	永江250ほか
7	史跡	鳥取藩台場跡(由良台場跡 境台場跡 淀江台場跡 橋津台場跡 浦富台場跡 赤崎台場跡)	政治に関する遺跡	S63.7.27 H10.12.8 H28.3.1	米子市	淀江町今津267-1ほか
8	史跡	上淀麩寺跡	社寺跡	H8.3.29 H17.7.14	米子市、個人	淀江町福岡
9	史跡	妻木晩田遺跡	集落跡	H11.12.8 H20.3.28	鳥取県・米子市ほか	米子市淀江町 大山町妻木
10	名勝	深田氏庭園	庭園	H12.12.20	個人	車尾
11	史跡	米子城跡	城跡	H18.1.26 R3.3.26	米子市	久米町261ほか

2 県指定文化財 (19件)

No.	種類	名称	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	保護文化財	木造十一面観音坐像	彫刻	S28.8.8	戸上・観音寺総合区	観音寺
2	保護文化財	鉄茶釜	工芸品	S32.2.6	米子市	米子市中町12番地(米子美術館)
3	保護文化財	高田家住宅附家相図一枚	建造物	S49.3.29 R2.5.22	個人	福万
4	無形民俗文化財	米子盆踊り	民俗芸能	S49.10.18	米子盆踊保存会	富士見町
5	無形文化財	弓浜緋	工芸技術	S53.12.12	弓浜緋保存会	米子市・境港市
6	天然記念物	粟嶋神社社叢	植物	S57.4.9	粟嶋神社	彦名町1404
7	保護文化財	刀無銘伝古伯耆物 附銀造糸巻太刀拵	工芸品	S62.12.25	大神山神社	尾高
8	保護文化財	絵画土器(角田遺跡出土)	考古資料	H16.2.3	米子市	淀江町福岡971-1(上淀白鳳の丘展示館)
9	名勝	心光寺庭園	庭園	H17.11.29	心光寺	寺町39
10	保護文化財	上淀麩寺跡出土壁画・塑像 附瓦・土器類	考古資料	H21.9.29	米子市	淀江町福岡971-1(上淀白鳳の丘展示館)
11	保護文化財	井手挾3号墳出土埴輪一括	考古資料	H22.9.17	米子市	淀江町福岡971-1(上淀白鳳の丘展示館)
12	保護文化財	旧日ノ丸自動車法勝寺鉄道車両 附関連資料一括	歴史資料	H23.3.22	米子市・南部町	道笑町1丁目パティオ広場ほか
13	保護文化財	相見家文書	古文書	H24.2.24	個人	県博に寄託
14	保護文化財	龍虎図屏風	絵画	H25.3.8	個人	米子市
15	保護文化財	瑞仙寺文書	古文書	H27.9.11	瑞仙寺	日下584
16	無形文化財	革工芸(保持者・本池秀夫)	工芸技術	H28.4.26	本池秀夫	大篠津町

17	無形民俗文化財	弓浜半島及び近隣地域のトンド	風俗慣習	H30.4.27	地元自治会等	兼久、東八幡、青木、西福原
18	保護文化財	神像 附神像3躯	彫刻	R3.11.19	八幡神社	東八幡276(八幡神社)
19	保護文化財	山陰歴史館所蔵長田文書	古文書	R3.11.19	米子市	中町20(山陰歴史館)

3 市指定文化財 (33件)

No.	種類		指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	有形文化財	旧小原家長屋門	建造物	S52.4.1	米子市	久米町209
2	有形文化財	米子市役所旧館	建造物	S52.4.1	米子市	中町20
3	有形文化財	朝比奈三郎、曾我五郎の草摺りを曳く図	絵画	S52.4.1	貴布禰神社	車尾550
4	史跡	尾高城跡	城跡	S52.4.1	米子市・鳥取県	尾高1268ほか
5	史跡	目久美遺跡	集落跡	S52.4.1	米子市	目久美町
6	史跡	清洞寺跡	社寺跡	S52.4.1	米子市	西町68地先
7	名勝	粟嶋	島嶼	S52.4.1	粟嶋神社	彦名町1404
8	史跡	中村一忠墓地 附中村一忠主従木像三体	墳墓	S53.4.1	感応寺	祇園町1丁目87
9	天然記念物	潮止め松	植物	S52.4.1	鳥取大学	西町68-8ほか
10	天然記念物	和田御崎神社元宮社叢	植物	S53.4.1	和田御崎神社	大篠津町2150
11	有形文化財	松南農兵隊関係遺品	歴史資料	S53.11.10	日吉神社・個人	淀江町西原
12	有形民俗文化財	石像、亀甲神社の道祖神神体	信仰	S53.11.10	亀甲神社	淀江町中間亀甲631
13	無形文化財	淀江傘製造技術	工芸技術	S53.11.10	淀江傘伝承の会	淀江町796
14	無形民俗文化財	淀江さんこ節	民俗芸能	S53.11.10	淀江さんこ節保存会	淀江町
15	無形民俗文化財	日吉神社神幸神事	風俗慣習	S53.11.10	日吉神社神幸神事保存会	淀江町西原
16	有形文化財	横田内膳墓碑および遺品	墳墓	S55.4.1	妙興寺	寺町46
17	有形文化財	大谷家資料	工芸品・古文書	S63.7.8	米子市	中町20(山陰歴史館)
18	有形文化財	太刀 銘安綱	工芸品	H3.10.29	大神山神社	尾高1025
19	有形文化財	安養寺資料	古文書	H2.5.10	安養寺	福市724
20	史跡	荒尾家墓所 附荒尾家位牌	墳墓	H2.5.10	個人、了春寺	博労町2丁目
21	有形民俗文化財	芋代官碑	信仰	H2.5.10	迎接院	夜見町2606
					富益神社	富益町1912
					雲泉寺護持会	和田町2571
					任宗寺壇中	葦津1469
22	無形民俗文化財	上淀の八朔行事	風俗慣習	H15.4.1	上淀自治会	淀江町福岡
23	有形文化財	米子城鯨	歴史資料	H17.2.6	米子市ほか	中町、立町
24	史跡	陰田1号墳	古墳	H22.6.28	個人	陰田町
25	史跡	石州府1号墳	古墳	H25.4.10	米子市	石州府660ほか
26	有形文化財	水管橋	歴史資料	H28.1.29	米子市水道局	糺町
					米子市水道局	西倉吉町

	有形文化財	木造神像	彫刻	2021/11/19県指定	八幡神社	東八幡
27	有形文化財	木造狛犬	彫刻	H28.1.29	八幡神社	東八幡
28	天然記念物	青木神社社叢	植物	H28.1.29	青木神社	青木
29	有形文化財	貴布禰神社 石造唐獅子	彫刻	R2.10.23	貴布禰神社	車尾5-7-41
30	有形文化財	桃形兜	工芸品	R2.10.23	米子市	中町20(米子市立山陰歴史館)
31	有形文化財	長砂経塚出土品	考古資料	R3.12.1	米子市	福市281(米子市埋蔵文化財センター)
32	有形文化財	中山経塚出土品	考古資料	R3.12.1	米子市	福市282(米子市埋蔵文化財センター)
33	有形文化財	石馬頭彰碑	歴史資料	R3.12.1	天神垣神社	淀江町福岡1015番1

4 登録有形文化財 (17件)

No.	種類	名称	登録基準	登録年月日	所有者等	所在地
1	登録有形文化財	米子専門大店	造形の規範	H13.8.28	個人	道笑町
2	登録有形文化財	旧米子市水源地旧ポンプ室	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
3	登録有形文化財	旧米子市水源地記念碑	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
4	登録有形文化財	旧米子市水源地水神社	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
5	登録有形文化財	旧日野橋	歴史的景観	H15.3.18	米子市	車尾・吉岡
6	登録有形文化財	坂口家住宅主屋	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
7	登録有形文化財	坂口家住宅離れ及び渡り廊下	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
8	登録有形文化財	坂口家住宅土間倉	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
9	登録有形文化財	坂口家住宅土蔵	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
10	登録有形文化財	坂口家住宅門及び塀	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
11	登録有形文化財	石賀本店土蔵	歴史的景観	H21.5.14	個人	法勝寺町
12	登録有形文化財	東光園	造形の規範	H29.10.27	ベネフィットホテル株式会社	皆生温泉3-2155ほか
13	登録有形文化財	旧外江屋店舗(米子まちなか観光案内所)	歴史的景観	R3.6.24	個人	灘町1丁目19ほか
14	登録有形文化財	判屋船越家住宅主屋	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
15	登録有形文化財	判屋船越家住宅東蔵	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
16	登録有形文化財	判屋船越家住宅西蔵	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
17	登録有形文化財	判屋船越家住宅裏門	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか

5 国記録選択 (2件)

No.	種類		選択基準・内容	選択年月日	所有者等	所在地
1	無形民俗文化財	出雲・伯耆の荒神祭	風俗慣習	H21.3.11	鳥取県・島根県	鳥取県・島根県
2	無形民俗文化財	上淀の八朔綱引き	風俗慣習	H20.3.13	淀江町福岡	淀江町福岡

6 県記録選択 (1件)

No.	種類		選択基準・内容	選択年月日	所有者等	所在地
1	無形民俗文化財	弓浜半島のトンド	風俗慣習	H23.11.25	米子市・境港市・南部町 及び伯耆町	米子市・境港市・南部町 及び伯耆町

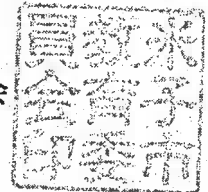
- ・国指定文化財 11件
- ・県指定文化財 19件
- ・市指定文化財 33件 (物件数 37件)
- ・国登録有形文化財 17件
- ・国選択文化財 2件



文起第1548号-1
令和4年2月17日

米子市文化財保護審議会
会長 神谷 要 様

米子市教育委員会



米子市指定文化財の指定について（諮問）

米子市文化財保護条例（平成17年米子市条例第77号）第3条第1項の規定による米子市指定有形文化財の指定及び第32条第1項の規定による米子市指定史跡の指定をしたいので、同条例第3条第2項の規定により下記の物件について諮問します。

記

- | | |
|-------|----------------|
| 有形文化財 | 古曳盤谷奉納龍之図天井画 |
| 有形文化財 | D-51形蒸気機関車 |
| 史跡 | 勝田土手 |
| 史跡 | 旧海軍美保航空隊飛行機用掩体 |

議 事

米子市文化財指定候補物件の概要

区 分	種 別	名 称	所 在 地	数 量	所 有 者 ・ 管 理 者
新規指定	有形文化財	古曳盤谷奉納龍之図天井画	米子市橋本（阿陀萱神社）	1点	阿陀萱神社

【資料解説】（こびきばんこくほうのうりゅうのずてんじょうが）

米子出身の南画家として信濃国（長野県）で活躍し、多くの門人を育てた古曳盤谷（1807～85）が、天保 8（1837）年郷里を出立する前に阿陀萱神社に納めた気魂溢れる龍之図天井画。ダイナミックな構想が雄渾で、揺るぎがなく、完成した気品を備えて見る者を圧倒する盤谷初期の傑作である。

区 分	種 別	名 称	所 在 地	数 量	所 有 者 ・ 管 理 者
新規指定	有形文化財	D-51 形蒸気機関車	米子市西町（湊山公園）	1両	西日本旅客鉄道株式会社

【資料解説】（でいーごじゅういちがたじょうききかんしゃ）

D51 形蒸気機関車は、日本国有鉄道（国鉄）の前身である鉄道省が設計、製造した単式 2 気筒で過熱式のテンダー式蒸気機関車。主に貨物輸送に用いられ、現場の機関士にも操作性の良さから人気があり、「デゴイチ」の愛称で親しまれた蒸気機関車の代名詞ともいえる車両。

区 分	種 別	名 称	所 在 地	数 量	所 有 者 ・ 管 理 者
新規指定	史跡	勝田土手	米子市勝田町	1基	米子市

【資料解説】（かんだどて）

勝田土手は、江戸時代に米子城下への洪水を防ぐ目的で造られた堤防である。築堤当初の規模は、全長 60m、幅 10m で、堤防の中央には出雲街道が通っており、洪水発生時には街道を封鎖し、門を閉じて洪水を防いだものと推測されている。近世の土木遺構として重要な資料である。

議 事

区 分	種 別	名 称	所 在 地	数 量	所 有 者 ・ 管 理 者
新規指定	史跡	旧海軍美保航空隊飛行機用掩体	米子市大篠津町	1基	米子市

【資料解説】 (きゅうかいぐんみほこうくうたいひこうきょうえんたい)

昭和 17 (1942) 年 10 月に創設された旧美保海軍航空隊の掩体壕・防空壕などの施設の一部は航空自衛隊美保基地の内外に現存している。このうち敵機の爆撃などから飛行機を隠し、格納する飛行機用掩体は 5 基が確認されており、歴史資料として重要な価値を有する戦争遺産である。

諮問物件写真①「古曳盤谷奉納龍之図天井画」



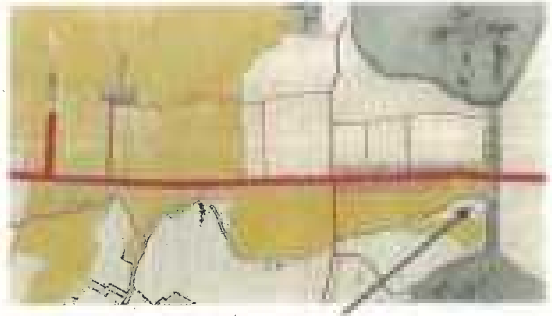
諮問物件写真②「D51 形蒸気機関車」



諮問物件写真③「勝田土手」

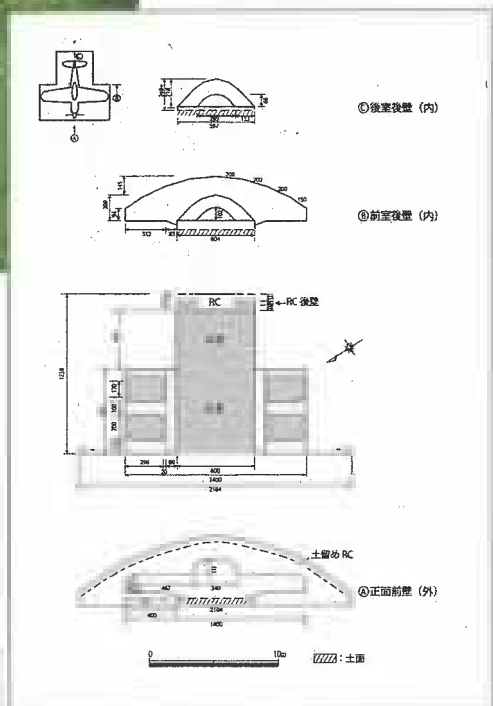


発掘された土手断面(平成元年)



古絵図にみる勝田土手

諮問物件写真④「旧海軍美保航空隊飛行機用掩体」



飛行機用掩体略測図

4 報告 (1) 米子市文化財保存活用地域計画の作成について (中間報告)

1 経 過

平成30年の文化財保護法の改正で各市町村が文化財の保存・活用に関して目標や中長期的に取り組む具体的な内容を記載した保存活用地域計画を定めることができることとされ、米子市では今年度から検討協議会を設置して作成に着手した。

【令和3年度の取組み】

- ・地域計画検討協議会（和田嘉宥座長、年4回開催）を設置して検討
 - ・米子市文化財団に委託して、網羅的な「文化財リスト」を作成
- ※全国で58市町村が作成（令和4年7月認定まで）

2 計画の概要

- 第4次米子市総合計画（米子まちづくりビジョン）の下に位置付けられ、文化財の総合的な保存と活用を目指すマスタープラン
- 計画期間は、令和5～11年度の7年間
- 県文化財保存活用大綱（令和2年策定）を勘案した計画作成とする。
- 主要な文化財に関する「課題－方針－措置」を定めたアクションプラン
- 米子市の歴史文化の特徴に基づき、未指定文化財を含めた多様なテーマの「関連文化財群」を設定する。
案：「米子の小路と地蔵信仰の関連文化財群」
「鉄道の町・米子の近代化の関連文化財群」など
- 文化財が特に集中する地域について、「文化財保存活用区域」を設ける。
案：「米子城と城下町歴史文化保存活用区域」
「古代淀江瀉歴史文化保存活用区域」
- 「関連文化財群」・「文化財保存活用区域」を用いて、まちづくりや観光などの分野とも連携して総合的に保存・活用を進めていく。

3 今後のスケジュール

【令和4年度】

- ・引き続き地域計画検討協議会で計画案を協議し、パブリックコメント実施
- ・文化財保護審議会から意見聴取し、国（文化庁）に認定申請

【令和5年度】

- ・国文化審議会の答申を得て認定
- ・計画書、パンフレット印刷、フォーラム等の実施

米子市文化財保存活用地域計画構成案

序章 文化財保存活用地域計画作成の概要

- 1 計画作成の背景と目的
- 2 地域計画の位置づけ
- 3 計画期間（令和5～11年の7年間）
- 4 計画の進捗管理と自己評価の方法
- 5 計画作成の体制と経過

第1章 米子市の概要

- 1 自然的・地理的環境
- 2 社会的状況
- 3 歴史的背景

第2章 米子市の文化財の概要と特徴

- 1 指定文化財の概要と特徴
- 2 未指定文化財の概要と特徴（※頭出しのみ）

第3章 米子市の歴史文化の特徴

第4章 米子市の文化財の保存と活用に関する課題・方針と総合的な措置

- 1 文化財の把握調査
- 2 文化財の保存・活用に関する現状と課題
- 3 文化財保存活用地域計画の理念と保存・活用に関する方針（※理念案のみ）
- 4 文化財の保存・活用に関する措置と計画期間等
- 5 文化財の防災・防犯対策及び災害発生時の措置

第5章 文化財の一体的・総合的な保存と活用と講ずる措置

1 関連文化財群

- 1-1 関連文化財群の考え方
- 1-2 関連文化財群の設定

- 1-3 関連文化財群の保存活用計画（課題・方針・措置）

- (1) 甍る弥生の国邑の関連文化財群
- (2) 淀江瀉を支配した王墓と寺院の関連文化財群
- (3) 中世の祈りと戦乱の時代の関連文化財群
- (4) 海城・米子城と城下町の関連文化財群
- (5) 米子の小路と地藏信仰の関連文化財群
- (6) 弓浜半島のトンドと芋代官碑の関連文化財群
- (7) 鉄道の町・米子の近代化の関連文化財群
- (8) 鎮守の森とオオサンショウウオが伝える自然の関連文化財群
- (9) ふるさと米子の伝統的な暮らしの関連文化財群 など

2 文化財保存活用区域

- 2-1 文化財保存活用区域の方針
- 2-2 米子の文化財保存活用区域

- (1) 米子城と城下町歴史文化保存活用区域
- (2) 古代淀江瀉歴史文化保存活用区域

第6章 文化財の保存・活用の推進体制

- 1 文化財の保存・活用の体制
- 2 体制整備の課題・方針
- 3 認定を受けた場合の事務処理特例の適用を希望する事務の内容

関連文化財群事例

(4) (仮称) 海城※・米子城と城下町の関連文化財群

ストーリー：

慶長 5 (1600) 年、天下分け目の関ヶ原の戦い前後に米子の歴史地図は大転換を遂げます。古代以来西伯耆における政治的中心は汗入郡の淀江、会見郡の南部地域でしたが、中国地方を支配した毛利一族で東出雲・隠岐・西伯耆 12 万石を支配した吉川広家は、本拠地である山深い月山富田城 (安来市) に代わる居城を中海に接した湊山に築城しようとしていました。広家は関ヶ原の戦後に未完成のまま岩国へ転封となり、その後、駿府から伯耆国 18 万石の国持大名に封じられた中村一忠により「海に臨む天空の城」米子城が完成します。天守 (中村期)、副天守・四重櫓 (吉川期) とされる 2 天守を擁し、内堀・外堀に守られた本格的な近世城郭でした。米子騒動をへて中村氏改易後は、加藤貞泰 (6 万石) の短い治世を経て、元和 3 (1617) 年に池田光政が因幡・伯耆 2 国の太守となり、次いで池田光仲が大山寺領 3 千石を除く因伯 32 万石の大守として岡山から鳥取に入府すると、米子城は主席家老荒尾成利 (1 万 3 千石) に預けられ、以後 11 代成富で明治維新を迎えます。明治 6 年には城内の建物が売却され、威容を誇った天守も取り壊されました。中村一忠墓地は感応寺に、荒尾家墓地所は了春寺にあり、横田内膳墓碑及び遺品は妙興寺に伝わっています。

米子城を要とする城下町の形成は、吉川時代に始まると思われませんが、中村氏の家老横田内膳により本格的に整備が進められたとされます。加茂川の流れを取り込んだ外堀の内側は廻船問屋後藤家住宅のある内町を除けば武家地でしたが、荒尾家以降は江戸時代を通して米子組士や荒尾家家臣といった武士の数は多くありませんでした。武家屋敷の遺構として残るのは旧小原家長屋門だけですが、近年発掘調査が進められ、武家地の様子も明らかになっています。

鳥取藩により荒尾氏による自分手政治に委ねられた町人地は外堀の外側に沿って「L」字型に灘町・立町など古くからの町と、倉吉町や尾高町など伯耆国各地の城下から移転してきた町、塩町、紺屋町など職人町などで形成され、その外側に 9 カ寺が並ぶ寺町などが配されました。城下町でありながら侍の影の薄い米子は、水運・陸運の要衝として農産物以外の伯州綿・鉄などの地場産業も発展し、近・現代へと続く商業の町としての基盤が形成されていきました。そして経済力をもった町民により茶の湯・庭園などの文化も栄えたのです

※海城・・・水運を押さえるため海に直面して築かれ、海水を堀に用い、その一部に舟入や船着場を設置または兼用している城 (『城の鑑賞基礎知識』(三浦正幸、1999 年) より)

関連する項目: 鳥取県大綱 (8) 揚羽蝶の光と影－鳥取池田家の政治と文化－
史跡米子城跡保存活用計画、同整備基本計画

構成文化財：米子城跡、中村一忠墓地、荒尾家墓所、横田内膳墓碑及び遺品、旧小原家長屋門、後藤家住宅、心光寺庭園、米子城鯨、米子の町家・町並み、加茂川土蔵群、大谷家資料、尾高城跡、清洞寺跡、勝田土手・宗像土手など



米子城跡

後藤家住宅

寺町通り

番号	種類	名称	時代	地域	指定等
1	城跡	米子城跡	江戸	就将	国指定
2	城跡	尾高城跡	戦国	大高	市指定
3	墳墓	中村一忠墓地 附中村一忠主従木像三体	江戸	就将	市指定
4	墳墓	荒尾家墓所 附荒尾家位牌	江戸	啓成	市指定
5	墳墓	横田内膳墓碑及び遺品	江戸	義方	市指定
6	歴史資料	米子城鯨	江戸	義方・就将	市指定
7	建造物	旧小原家長屋門	江戸	就将	市指定
8	建造物	後藤家住宅	江戸	義方	国指定
9	庭園	心光寺庭園	江戸	義方	県指定
10	町並み	米子の町家・町並み	江戸	就将・明道・義方	未指定
11	町並み	加茂川土蔵群	江戸～明治	就将・明道・義方	未指定
12	寺跡	清洞寺跡	江戸	就将	市指定
13	古文書他	大谷家資料	江戸	就将	市指定
14	防災施設	勝田土手	江戸	啓成	未指定
15	防災施設	宗像土手	江戸	成実	未指定
16	建造物	旧外江屋店舗	江戸	義方	国登録

米子市文化財リスト(就符)

指定文化財	史跡	有形文化財	無形文化財	近代・現代	日	要	備考		
米子城跡	史跡	史跡	城館	江戸前期	就符	久米町	平城16年1月26日 米子市	山脈でほぼ完全に包囲されてきた。北の丸山、東の飯山を以て、内堀と外堀で城山を取り囲み、さらに外堀に底層を築き上げた典型的な平山城。	鳥取県中世城郭考古学調査(報告書)
山陰歴史博物館蔵長田文書	保護文化財	美術工芸品	有形文化	安土桃山時代(1595年、1599年)	就符	中町20(山陰歴史博物館)	令和3年11月19日 米子市	立寄物(書状)に含まれていた可能性が極めて高い。 ① 文政4年(1821)2月3日 米子藩家老等田島外務、② 慶永4年(1831)3月10日 米子藩家老等田島外務からなり、中世末期の信濃回廊回廊回廊の在り地努力	鳥取県調査(総合調査)
旧小原家茶屋門	有形文化財	有形文化財	建造物	江戸後期	就符	久米町	昭和52年4月1日 米子市	水廻り等保存修理等が必要だが、将来的に城跡公園に併し移転を検討。	鳥取県調査(総合調査)
旧米子市庁舎	有形文化財	有形文化財	建造物	昭和5年	就符	中町20	昭和52年4月1日 米子市	昭和57年市役所移転により、昭和59年から米子市立山陰歴史博物館として活用されている。上層階や入口部で明確な多様性が見られる。	鳥取県調査(総合調査)
大谷家資料	有形文化財	有形文化財	美術工芸品	江戸時代	就符	中町20(山陰歴史博物館)	昭和63年7月8日 米子市	大谷家は江戸時代を通じて海運業と高利貸を営んだ大商人。大谷家資料11品の中には、竹島渡海船の乗組員(船長)や船員(船主)の遺品(船主の日記など)があり、竹島渡海船の歴史を伝える重要な史料を待っている。	鳥取県調査(総合調査)
米子城跡	有形文化財	有形文化財	美術工芸品	江戸時代初期	就符	中町、立町	平成17年7月6日 米子市ほか	① 慶永5年の解体修理前の米子城四重櫓に於いて、この櫓で主要な用途を果たした高木(高木)の遺品(船主の日記など)があり、竹島渡海船の歴史を伝える重要な史料を待っている。	鳥取県調査(総合調査)
水廻り	有形文化財	有形文化財	歴史資料	江戸時代	就符	西倉吉町	平成20年1月28日 米子市水運局	大正15年3月に上水運施設完成。創設時の水管理(地上)に設置された水運等の配管が現存。長さ5.3m	鳥取県調査(総合調査)
目久美遺跡	史跡	史跡	無形	弥生時代	就符	目久美町	昭和62年4月1日 米子市	弥生時代(6世紀)から生じた前期(2-3期)の遺跡。弥生時代(6世紀)から生じた前期(2-3期)の遺跡。弥生時代(6世紀)から生じた前期(2-3期)の遺跡。	鳥取県調査(総合調査)
中村一忠墓地(附中村一忠墓石)	史跡	史跡	有形文化財	江戸時代	就符	飯町丁1丁目87	昭和63年4月1日 飯町寺	長14年(1609)米子市中一の死後、海死した2人の小姓と共に飯町寺山に葬られ、御影堂を建立。3	鳥取県調査(総合調査)
飯町1号墳	史跡	史跡	古墳	古墳時代	就符	飯町	昭和62年8月28日 個人	飯町1号墳は、各1の丘。に「された石」の取付式石室を有し、遺跡も良好。	鳥取県調査(総合調査)
清洞寺跡	史跡	史跡	社寺跡	江戸時代	就符	西向66地先	昭和52年4月1日 米子市	かつて中畑に寺があったが、2代米子城主・島津重豪が島を削り立て、そこに火の御影を祀り、五輪塔を建立した。寺域は現在、米子市立山陰歴史博物館の敷地内にある。	鳥取県調査(総合調査)
潮止松	天然記念物	天然記念物	植物	江戸時代	就符	西向69-8ほか	昭和52年4月1日 鳥取大学	江戸時代の初期、米子城跡の跡地に、防潮林として植えられたといわれる。樹高周囲20m以上、樹高20m以上と推定され、県内では、大山寺遺跡の苗木と並ぶ名木。	鳥取県調査(総合調査)
未指定文化財									
金光教米子幹会	有形文化財	有形文化財	建造物	昭和19年	就符	加茂町2-221	金光教	新金剛(本堂)入道、浄土宗、正西向の五輪塔が、中村一忠の御影を祀り、五輪塔を建立した。寺域は現在、米子市立山陰歴史博物館の敷地内にある。	鳥取県調査(総合調査)
森家(旧米子藩別荘跡)	有形文化財	有形文化財	建造物	明治初期(推定)	就符	西倉吉町46	個人	森家(二階建て)香檳蔵、中央階段型、水廻り3階、加茂川の川底より出土した出石地蔵を祀っている。三階には田舎三郎の赤土蔵	鳥取県調査(総合調査)
0218 奥い鷹(旧木下薬局)	有形文化財	有形文化財	建造物	明治初期	就符	西倉吉町67	個人	森家(二階建て)香檳蔵、中央階段型、水廻り3階、加茂川の川底より出土した出石地蔵を祀っている。三階には田舎三郎の赤土蔵	鳥取県調査(総合調査)
旧まつゆ旅館(構や)	有形文化財	有形文化財	建造物	明治中期(推定)	就符	西倉吉町41	個人	森家(二階建て)香檳蔵、中央階段型、水廻り3階、加茂川の川底より出土した出石地蔵を祀っている。三階には田舎三郎の赤土蔵	鳥取県調査(総合調査)
持田金物店(旧持田旅館)	有形文化財	有形文化財	建造物	明治9年(台帳)	就符	東倉吉町46	個人	森家(二階建て)香檳蔵、中央階段型、水廻り3階、加茂川の川底より出土した出石地蔵を祀っている。三階には田舎三郎の赤土蔵	鳥取県調査(総合調査)
旧住田薬局	有形文化財	有形文化財	建造物	明治19年(台帳)	就符	東倉吉町66	個人	森家(二階建て)香檳蔵、中央階段型、水廻り3階、加茂川の川底より出土した出石地蔵を祀っている。三階には田舎三郎の赤土蔵	鳥取県調査(総合調査)
第一モリ川	有形文化財	有形文化財	建造物	大正7年	就符	西倉吉町	個人	森家(二階建て)香檳蔵、中央階段型、水廻り3階、加茂川の川底より出土した出石地蔵を祀っている。三階には田舎三郎の赤土蔵	鳥取県調査(総合調査)

5 報告 (2)米子城跡の整備計画について(報告)

①園路整備工事

- ・既存園路上に足元灯がある手摺付の園路を整備。
- ・榊形から天守、艇庫側から天守のルートを整備。

②支障木伐採

- ・天守周辺、トリムコース、堅堀周辺から択伐を実施。

③石垣カルテ作成

- ・二の丸石垣の強度を確認のため、石垣カルテを作成。

④二の丸榊形修理設計

- ・石垣保護に資する修理設計を実施。

⑤案内看板設置工事(★は設置予定位置)

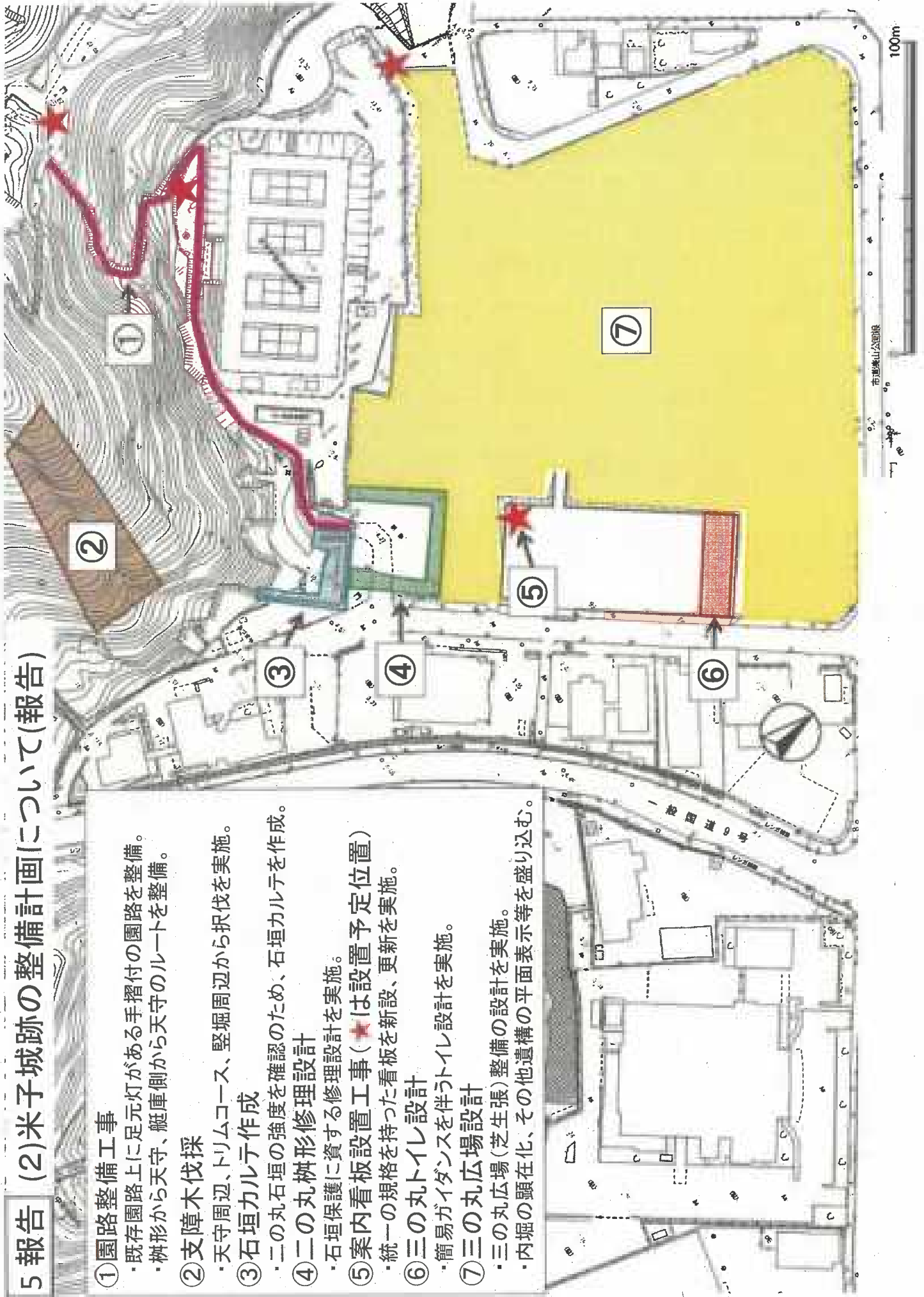
- ・統一の規格を持った看板を新設、更新を実施。

⑥三の丸トイレ設計

- ・簡易ガイダンスを伴うトイレ設計を実施。

⑦三の丸広場設計

- ・三の丸広場(芝生張)整備の設計を実施。
- ・内堀の顕在化、その他遺構の平面表示等を盛り込む。



① 文化財指定関係

市指定 有形文化財・長砂経塚、中山経塚、石馬顕彰碑

令和3年12月1日米子市教育委員会告示

⇒新指定文化財展示公開(令和4年2月26日～令和4年3月27日/山陰歴史館)

県指定保護文化財 八幡神社所蔵神像附神像3軀、山陰歴史館所蔵長田家文章

令和3年11月19日鳥取県告示

② 文化財登録関係

国登録有形文化財(建造物) 判屋船越家住宅

令和3年10月14日 官報告示

③ 現状変更許可関係(21頁 参照)

④ 埋蔵文化財関係(22頁 参照)

ア 市内遺跡発掘調査事業

開発に伴う遺跡の有無、範囲、性格などを確認する試掘調査を11ヶ所実施。

尾高城跡の遺構確認調査及び赤色立体図の作成。

イ 保存活用事業

過去の出土品の再整理

⑤ 史跡整備関係

ア 史跡青木遺跡整備事業・・・5号地の法面崩落個所の工事を実施。

イ 史跡福市遺跡整備事業・・・日焼山地区の法面崩落個所の工事を実施。

ウ 史跡米子城跡保存整備事業

(ア) 整備検討委員会 整備基本計画に基づき、今後の米子城跡整備について検討する。

令和3年度第2回を3月11日に開催・・・(18頁 参照)

(イ) 支障木の伐採 遺構の保護及び来訪者、近隣施設の安全確保のために遠見櫓周辺、番所跡下斜面とテニスコート周辺の支障木を伐採。

(ウ) 補助事業 石垣カルテ作成業務を2ヶ所実施。

(エ) 発掘調査 内容確認調査として三の丸米蔵、枡形の石垣、園路整備に伴う事前の確認調査を実施。

(オ) ソフト事業 米子城 魅せる！プロジェクトの実施。

米子城 VR 作成、天守清掃、現地説明会(9月21日、3月26日)、よみがえる米子城展(お菓子の寿城)、米子城ライトアップ、城山自然ツアー、新年あけまして米子城!、ダイヤモンド大山観

望会、仮設多目的トイレを三の丸駐車場に設置、パンフレット
スタンド・ベンチ寄贈

⑥ 名勝・天然記念物関係

・オオサンショウウオ 件数17件（内マイクロチップ挿入15件）

⑦ 無形民俗文化財関係

ア 日吉神社神幸神事（ヨイトマカセ） 5月3日開催予定の神事を新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

イ 第54回米子盆踊大会 8月14日開催予定の大会を新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

ウ 弓浜半島及び近隣地域のトンド 米子市トンド保存会に14地区15集落が加入。また、5集落のトンド用具等の修繕を行なった。1集落のトンド用具等の修繕のための調査を行った。

⑧ 無形文化財関係

ア 弓浜緋 保存会が保護事業（資料収集、用具等の修繕）に着手。展示会は実施したが、新型コロナウイルス感染防止のため講習会を中止した。

イ 淀江傘製造技術 後継者育成に着手（県、市の助成金事業、研修生1名育成中）、3年間の研修期間を終了した。淀江傘200年記念事業として、10月に淀江傘200年記念企画展「開いて花 雨音楽し 淀江傘」を米子しんまち天満屋で実施。2月には「淀江傘200年～受け継がれた技～」を米子市立山陰歴史館で実施した。

⑨ 有形文化財関係

ア 県指定保護文化財高田家住宅養蚕場の屋根修理事業

イ 貴布禰神社石造唐獅子の標柱設置

ウ 県指定保護文化財法勝寺電車車両のステップ板修理

⑩ その他

ア 活用事業実施状況

（ア）史跡上淀廃寺跡・・・彼岸花まつり（9月23日～26日）

（イ）史跡妻木晩田遺跡・・・5月の「トリドリむきばんだ」は、新型コロナウイルスのため中止。

むきばんだフェスタ（10月1日～11月1日）

令和3年度史跡名勝天然記念物現状変更許可状況一覧

(令和3年4月～令和4年2月)

種別	名称	地区・地域	許可申請者	現状変更の概要	許可年月日	許可権者	
1	市指定	尾高城跡	米子市尾高	米子市長	工事ハウス設置	R3. 4. 1	米子市教育委員会
2	国史跡	福市遺跡	米子市福市	米子市長	法面補強工事	R3. 5. 12	文化庁長官
3	国指定	上淀廃寺跡	米子市淀江町 福岡	彼岸花の里づくりプロジェクト 実行委員会	彼岸花植栽	R3. 5. 21	文化庁長官
4	国史跡	青木遺跡	米子市永江	米子市長 伊木 隆司	法面補強工事	R3. 6. 1	文化庁長官
5	国指定	米子城跡	米子市久米町	NTT 西日本	電話 BOX 撤去	R3. 7. 21	米子市教育委員会
6	国史跡	米子城跡	米子市久米町 ほか	米子市選挙管理 委員会委員長	衆議院選挙に係るポスター掲示板	R3. 9. 10	米子市教育委員会
7	国史跡	向山古墳群	米子市淀江町 福岡	米子市選挙管理 委員会委員長	衆議院選挙に係るポスター掲示板	R3. 9. 10	米子市教育委員会
8	国史跡	淀江台場跡	米子市淀江町 今津	米子市選挙管理 委員会委員長	衆議院選挙に係るポスター掲示板	R3. 9. 10	米子市教育委員会
9	国史跡	米子城跡	米子市久米町	米子市長	禁煙看板設置	R3. 10. 11	米子市教育委員会
10	特別天然記念物	オオサンショウウオ	米子市古豊千	日野川河川事務所 所長	日野川河床工事	R3. 11. 25	文化庁長官
11	国史跡	妻木晩田遺跡	米子市淀江町 福岡	鳥取県西部総合 事務所所長	崩壊斜面復旧工事	R3. 12. 17	文化庁長官
12	国史跡	米子城跡	米子市久米町	米子市長	電柱移設	R3. 12. 24	米子市教育委員会
13	国史跡	米子城跡	米子市久米町	米子市長	樹木伐採	R4. 1. 21	米子市教育委員会

令和3年度市内遺跡発掘調査事業 調査結果一覧

(令和4年3月14日現在)

	調査遺跡名	調査地	調査面積 ㎡	調査原因	検出遺構	出土遺物
1	蚊屋所在遺跡	米子市蚊屋	7.5	宅地開発	なし	なし
2	淀江町福岡所在遺跡	米子市淀江町福岡	48	太陽光発電施設 建設	なし	須恵器、土師器
3	大谷町所在遺跡	米子市大谷町	27	宅地開発	なし	白磁
4	栄開拓第1遺跡	米子市石州府	25	工業団地開発	なし	なし
5	奥谷所在遺跡	米子市奥谷	17	河川改修	なし	陶磁器
6	淀江町所在遺跡	米子市淀江町淀 江・西原	24	ほ場整備	なし	陶磁器
7	淀江町福岡所在遺跡	米子市淀江町福岡	84	鉄塔建設	なし	なし
8	泉所在遺跡	米子市泉	30	太陽光発電施設 建設	なし	陶磁器
9	福市所在遺跡	米子市福市	24	太陽光発電施設 建設	なし	土器・陶磁器
10	古市所在遺跡	米子市古市	20	河川改修	なし	なし
11	米子城跡	米子市久米町	496.53	内容確認	建物跡・ 石敷水路	瓦・陶磁器
12	尾高城跡	米子市尾高	調査中	内容確認	調査中	調査中

(4) 令和4年度文化財保護事業 実施計画

① 文化財保存活用地域計画策定（令和4年度作成・令和5年度 国認定予定）

② 埋蔵文化財関係

ア 市内遺跡発掘調査事業

開発に伴う遺跡の有無などを確認する試掘調査等を現時点で4件予定

イ 史跡等の内容確認調査

尾高城跡の内容確認発掘調査

③ 史跡整備関係

ア 史跡青木遺跡整備事業

3号地の法面崩落防止工事設計実施。

イ 史跡福市遺跡整備事業

日焼山地区法面崩落防止工事設計実施。

ウ 史跡米子城跡保存整備事業

(ア) 整備検討委員会 整備基本計画に基づいた史跡整備に関する方針、方法等について協議する。年度内3回実施予定。

(イ) 支障木の伐採 遺構を毀損する恐れのある支障木、園路付近の来訪者に危険を及ぼす可能性の高い支障木の伐採を実施する。

(ウ) 発掘調査 内容確認調査として内堀、二の丸高石垣、園路の発掘調査を実施する。

(エ) 石垣調査 二の丸枡形の石垣カルテ作成を行う。

(オ) 石垣修理事業 枡形・裏中御門石垣の積み直し修理を行うための設計業務。

(カ) 整備工事 園路工事、三の丸公園設計、三の丸トイレ設計、

④ 名勝・天然記念物関係

ア オオサンショウウオの保護・・・河川改修に伴う事前踏査、放流など

イ コウノトリの情報収集・・・飛来、繁殖の情報収集など

⑤ 無形民俗文化財関係

・弓浜半島及び近隣地域のトンド

現在14地区19集落を対象に指定を働きかけている。

2集落のトンド用具等の修繕を実施

⑥ 無形文化財

- ア 弓浜絣の保存事業（古い絣の収集、保存、絣製作体験講座の実施等）
- イ 淀江傘製造技術の伝承・・・後継者育成者の募集

⑦ 有形文化財

- ア 重要文化財石馬防災整備事業
- イ 高田家住宅養蚕場屋根修理事業
- ウ 高田家住宅自動式火災報知器設置事業

⑧ その他

- ・活用事業実施計画
史跡米子城跡・・・米子城・魅せるプロジェクト 2022
（発掘現場公開、米子城ライトアップ 2022、講演会講師派遣）

⑨ 文化財指定及び登録文化財の候補について

- ア 国指定
国史跡指定候補 尾高城跡（現在米子市指定史跡）

- イ 市指定候補案件について
 - （ア）古曳盤谷奉納龍之図天井画
 - （イ）D51形型蒸気機関車
 - （ウ）勝田土手（新土手）、宗像土手
 - （エ）旧海軍美保航空隊飛行機用掩体
 - （オ）車尾の道標
 - （カ）セントロマントロ
 - （キ）その他

- ウ 国登録文化財（建造物）候補案件について
 - （ア）旧角盤町郵便局
 - （イ）後藤分家長楽軒

国指定史跡・米子城跡 現地説明会資料 (二の丸枅形の調査)



写真5 二つの鏡石



写真6 左の鏡石(高さ1.8m、幅2.1m)



写真7 右の鏡石(高さ1.7m、幅1.9m)

石垣の積み方

今回は遺構保護のため、江戸時代の整地面までの検出に留めています。このため、石垣の基礎構造に関する情報を得ることはできませんでしたが、石の積み方や使用する石材の大きさ、加工方法について新たな知見を得ることができました。

現在見えている石垣は、一段目は石の大きさが不ぞろいの部分もありますが、全体的に見ると大きな石を数段程度並べる「布積(ぬのづみ)」で築いています。また、枅形に入った正面には侵入してきた敵を威圧するために設置されたと考えられる「鏡石(かがみいし)」が置かれています。今回の調査で、隣にもう一個大きな鏡石があることが判明しました。

石の大きさは、枅形の内側では大きなものが使われていますが、外周側では小さな石や未加工の石が多く使われています。枅形の内外で使用する石の大きさや加工度が異なる点は、人が通行する内側を見せるための工夫と考えられます。

※ 石垣カルテとは、石垣の現状を写真や3Dレーザー測量によって記録することで、突発的な災害などで石垣が損壊した後に、速やかに修理を行うための基礎資料となるものです。



令和4年(2022年)3月26日(土)

鳥取県米子市

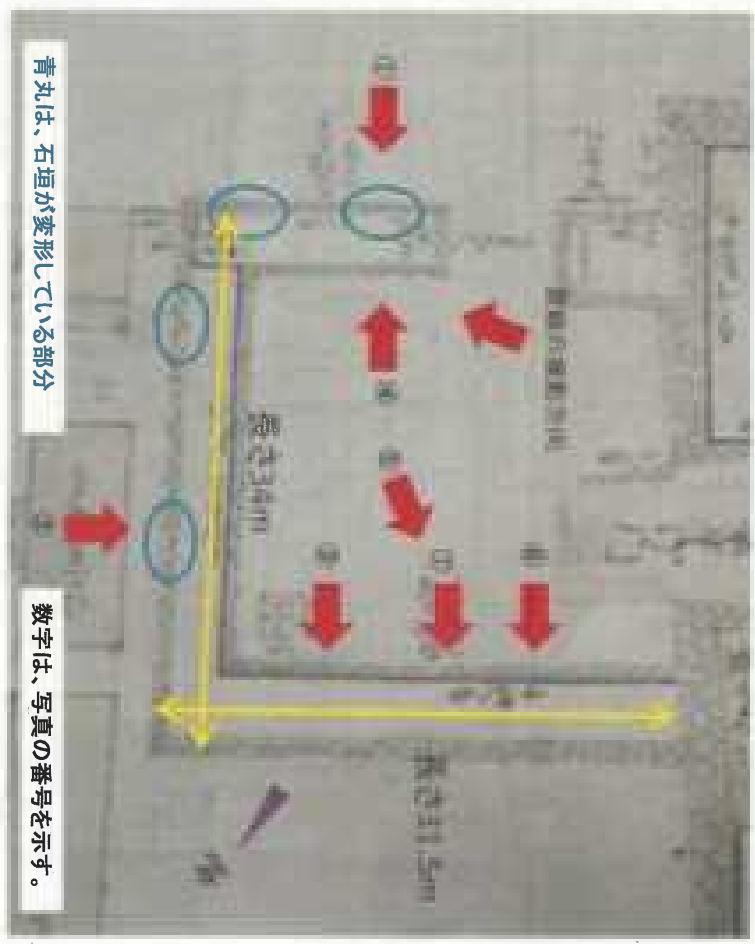
はじめに
米子市では、令和3年(2021年)3月26日に国史跡に追加指定された、米子城跡三の丸(旧湊山球場)の整備を目的とした発掘調査を進めています。令和3年度には、三の丸米蔵と園路部分の発掘調査及び、二の丸枡形の発掘調査を行いました。

二の丸枡形の発掘調査は令和2年度より継続しており、昨年度は試掘調査と石垣カルテ※の作成を行いました。その結果、江戸時代の石垣の高さが4mもあったことが判明しました。数ある米子城の石垣の中でも、見ごたえのある石垣の一つです。

今回は、劣化が進行している石垣の修理を行うために枡形の下層に埋もれている部分の発掘調査を行い、石垣カルテを作成しました。米子城を訪れた人が最初に目にするこの石垣を、今後どのように活かして整備するのか、大きな課題が見えてきました。



「米子御城平面図Ⅱ(江戸末期) (米子市立山陰歴史館所蔵)」



「米子御城平面図Ⅱ(江戸末期)の枡形部分 (米子市立山陰歴史館所蔵)」



写真1 石材の割れ



写真2 石が抜けた部分に小石を詰めている



写真3 加工途中の矢穴(やあな)

調査結果
調査前の枡形の枡形は、3.4m×3.15mの範囲に高さ2.5～3mほどの石垣が巡っていましたが、更に下層を掘り下げた結果、高さが4mもあったことが判明しました。
枡形の下層は、明治時代後期から昭和20年頃までこの丸付近で稼働していた陶器窯、「米城焼(いひじょうやき)」の失敗品や築道具が大量に埋められました。



写真4 間詰石(まづめいし)が欠落した部分

青丸は、石垣が変形している部分
数字は、写真の番号を示す。

D51形蒸気機関車195号機について

文化振興課

日本国有鉄道（国鉄）の前身である鉄道省が設計、製造した、単式2気筒で過熱式のテンダー式蒸気機関車。主に貨物輸送のために用いられ、太平洋戦争中に大量生産されたこともあって、国鉄における所属総数は1,115両に達しており、現場の機関士にも操作性の良さから人気があり、「デゴイチ」の愛称は、日本の蒸気機関車の代名詞にもなっている。

【保存機】

蒸気機関車の代名詞でもあったD51形は、日本国内に限っても2021年現在JR西日本に1両（200号機）、JR東日本で1両（498号機）の2両が本線で運行可能な状態で動態保存されている。それ以外にも100両以上が全国各地の鉄道博物館やその他博物館、公共施設、学校、公園などで静態保存されている。なお、そのうち1・187・200・488・745号の5両は準鉄道記念物に指定されている。

県内には、米子市湊山公園に195号機（JR所有・米子市貸与）、鳥取砂丘こどもの国に303号機が静態保存されているのみ。大山口駅前に保存されていた620号機は、2009年に展示終了、解体。一部部品は隠岐島へ譲渡、片側走り装置と動輪のみ展示。

【195号機の履歴】

1939年度に大宮工場で製造された10両（D51 195 - 198・243 - 244・469 - 472）の1両（製造番号9）。東京局配属 当初配置不明。

1948年7月現在酒田－1960年1月横手－1968年4月現在横手－移動時期不明 東能代

1970年10月4日新見－1973年2月12日米子－1973年3月1日廃車（米子）

（レイル・マガジン2008年9月号付録「機関車表」沖田佑作氏編より）

